

労働者協同組合 上田

こんな時代だからこそ 新しい働き方
労働者協同組合法の活用で

労働者協同組合周知フォーラム～東日本ブロック～

2024年1月28日



私たちの自己紹介

名称 労働者協同組合 上田（通称 労協うえだ）

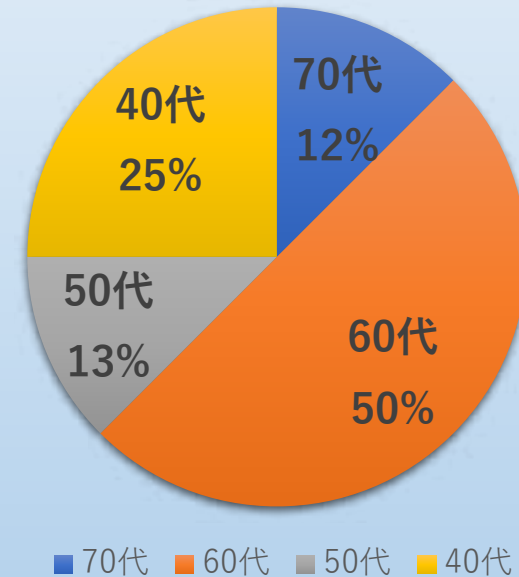
設立 令和5年3月24日

出資総額 31万円（1口2千円、2口以上）

組合員 8名（男性6名、女性2名）
70代1名、60代4名、
50代1名、40代2名

売上高 255万円
（第2期〔2023年9月～2024年8月〕見込額）

年齢構成



※2023年8月末で第1期終了（定期総会実施）現在2期目の活動中

私たちの活動スローガン

こんな時代だからこそ 新しい働き方で これまでの人生経験と
趣味や資格を活かした仕事づくりを一緒にしませんか

私たちの大きな目標

少子高齢化社会の中で、地域社会生活にもうひとつの新しい歯車を創りたい！
それは、60代～70代の元気なシニア層が地域の守り手として地域の困り事を
解決する仕事（担い手）として活躍する！そんな新しい地域社会の仕組みを創っ
てゆくことです



活動のキッカケと経過

- 「労働者協同組合法が成立した！」との情報を3年前に知ったことです。
- 年齢的にも、厳しいかなと想いながらも、自分に合った働き甲斐が感じられるような仕事があったら良いなと求人情報を見たり、ハローワークに寄ってみたりしていましたが、当然ながら、そんな都合のいい仕事はありません。
- そうした中で、自らが出資して、皆で仕事をつくり、そこで自らが働き、皆で配分する言う「新しい働き方」を知り、これだと強く感じ、この際、自分が動けるうちに地元で取り組んでみようと、勇気を出してワーカーズユース上田事業所に訪問したのが始めてでした。
- 私は、引っ込み思案で、隣の人に声を掛けることも苦手な方です。そんな自分でもこの日をさかいに自分自身も変わろうと心がけていることがあります。

それは、勇気を出して外に出ることです。私が今、ここで話していることが不思議なくらいです。

ここまで取り組みが出来てきた全てが、この日から始まったと言っても過言ではありません。

何故なら、今、一緒になって活動している仲間の皆さんは、3年前に上田事業所を訪問した日以降で、巡り合った人達ですから

私たちワーカーズ上田地域応援隊の活動をはじめて、3年目ですが、令和5年3月24日に労働者協同組合上田（労協うえだ）を立ち上げました。

少子高齢化社会の真ただ中で、後継者問題、重くのしかかる年金・福祉問題、地域の空き家、農地の荒廃など、解決の方向すら見いだせないと言うのが率直な現状ではないでしょうか！！そんな中で「労働者協同組合法」がこの現状を解決する方法だと知ったからです。



私たちは協同労働の協同組合「労働者協同組合上田（労協うえだ）」を発足させました

私たちの考え方

少子高齢化社会は地域生活においても様々な支障や弊害をもたらしています。私たちは今まさに**高齢者仲間たちによる高齢者同士の助け合いが、問題解決の糸口**になるものと考えています。具体的には、庭の木を切りたい・草刈りしてほしい・ここに棚が欲しいなど業者に頼むほどではないが、チョットした手が欲しいという**身近な相談事を地域に住む身近な高齢者達が仕事仲間としてお手伝いする**仕組みです。

厚労省の人口統計でも就労を希望する高齢者の割合は7割を超えていると言われてますが、この地域の**まだまだ元気な高齢者たちの潜在的な能力をこの様な新しい働き方で発揮して欲しい**と考えています。こんな思いから発足させたのが「労働者協同組合 上田（略称:労協うえだ）」です。

私たちは、これまでの人生でえた経験や資格・趣味を活かした様々な働き方を組織化し提案して行きます。**経験豊富な高齢者たちが楽しく生き生きと働きながら自らの存在感が地域で感じられる**様なそんな生き方の提案です。この活動は地域社会への貢献と地域活性化の原動力になるものと確信しています。

人生100年時代に相応しい地域社会の再構築です。

ワーカーズ上田地域応援隊



家庭菜園
チーム

ソルガム栽培
チーム

竹林
チーム

学習会
人材育成

宮 繕
チーム

労働者協同組合

労協うえだ

地域

地域包括支援センター
社会福祉協議会
まちづくり協議会

行政



・受注のキッカケ 地元の知人からの紹介

・動機 子どもたちは、それぞれ県外に生活していて、この家に帰ってくる予定が無い。自分の生活が維持できる程度に、手入れしておきたい!身近に安心して頼める人がいないか! 主人が元気なころに自分でやってくれていた日曜大工仕事程度で良いので!

秋のわくわく収穫祭（センター事業団上田事業所）と 共催でサツマイモの収穫体験と里山周辺のハイキング



開催日 : 令和5年10月21日（土曜日）

内容 : 別所線に乗って塩田の畑でサツマイモ掘り体験と
ソルガム迷路の冒険そして、焼き芋と豚汁とで腹ごしらえ。
午後から””信州の鎌倉街道（塩田城跡から前山寺コース）を
ハイキングして公園で休憩””



参加者 : 児童クラブの友達とご家族そして、先生たち（2歳の子供
から76歳の高齢者）総勢30名



焼き芋焼いて早25年！！！！そろそろ良いかな？？？
(焼き芋おじさん達！)



私たちからの提案

上田市内には324ヘクタール（東京ドーム69個分）もの遊休農地が放置されています。

この再生と活用が地域社会問題となっています。

私たちは、「ソルガム栽培普及」を通して脱炭素社会の実現にも繋がるこの取り組みを上田市内でも取り組みたいと考えています。食糧問題をはじめ自然・環境・健康などに関心のある市民の皆さんにも広く参加を呼びかけ一人一人が「2050年問題」を考え、今「何をすべきなのか」「何ができるか」話し合い、具体的に行動して行くことが大事だと考えています。



「ソルガム栽培」を進める利点

- 耕作放棄地の救世主！それは、手間がかからない！
- 作りやすく水管理もない！子実は食用に、茎葉はリサイクルに、廃棄する部分がない！
- 栄養が豊富で、アレルギーフリー！（食品表示法で定められた28種類のアレルギー物質が含まれてない）
- 信州大学工学部 天野教授が進める「信州そるがむで地域を元気にする会」推奨



活動報告 農地の再生とソルガム栽培（長野県元気づくり支援金事業）



ソルガム先進地 視察会

長野市第二学校給食センター 試食勉強会に参加



ソルガムパン



ソルガム入りメニュー

- ・ミネストローネ
- ・ポテトサラダ
- ・パン ・うどん



ソルガムうどん



おいしいソルガム入り
メニューを作っていた
できました！

塩田の体験型家庭菜園の川沿いに放置された竹林

令和5年から地域課題となっている放置竹林を何とかしようと竹林チームを発足させる。

春に家庭菜園チームのメンバーとタケノコ狩りを楽しみ、間引きを兼ねて竹林の刈り倒し作業を実施。

12月9日。今年購入した窯で（竹炭実演会）をする。

快晴の下、楽しかった！

今年2月に再度竹炭実験をする予定。

次回は早めに蓋をして竹の形が残る竹炭作りに挑戦！



はじめての竹炭実演会



生活支援コーディネーターとの交流会と勉強会を開催しました



市内には10ヶ所に「地域包括支援センター」が開設され工夫されながら様々な活動に取り組まれています。共通する課題は、どの様にして地域の身近な困り事を解決して行くのか！！

「もともとつながりのある高齢者世帯は、出来ることはお互い様で、そこに60代後半からの世代をどの様に巻き込むかが課題となっている」との発言もあり、今こそ私達の出番だ！と感じました

西部・塩尻地区『住みやすい地域づくりを考える会』

参加者：地区民生委員
薬局・薬剤師
ケアマネージャー
地域包括支援センター
まちづくり協議会
社会福祉協議会
デイ・サービス施設
など、総勢50名ほどの地域の方々が出席

労協うえだの活動紹介をする



この活動を進めるにあたって、重要な視点があります。
それは、**地域と行政との連携・協力・支援の体制と仕組みづくり**です。

何故なら、私たちの活動の多くは、**地域社会にとって必要不可欠な「エッセンシャルワーク」**分野での仕事づくりが中心となるからです。

私たちの仕事づくりは、必ず、**地域の人たちとの協力と、そして、行政との連携**が欠かせない仕組みだと考えています。
そこで現在、取り組んでいるのが、**地域包括支援センターとの協力と連携の体制づくり**です。

地域の課題や問題が持ち込まれる組織と、その解決策の受け手としての労協組織が地域問題を両輪で解決して行く仕組みです。

**新しい生活スタイル（歯車）を地域に起していこうという提案
です。**

この事は、高齢者が元気に楽しく、そして地域社会の一員として自らの存在と役割を感じながら生活する、健康寿命の延伸にもつながる生き方の提案でもあります。

問題提起

定年を迎えてもその先の人生は30年！？結構ながーい！！！！



この時間をどう使い？どう生き抜くか！！いざ当事者となると切実な問題！

意外に社会の中では、軽く扱われているのではないか？？？

危機的な状況を迎えている少子高齢社会の中で、時代にふさわしい社会のしくみ作りが、大きく立ち遅れているのではないかと感じます！

人生100年時代、長寿社会の時代に相応しい生き方、
過ごし方の提案です！

それは、60代～70代の元気なシニア層が地域の守り手として
地域の困り事を解決する仕事人（担い手）として活躍する！
そんな新しい地域社会の仕組み、新しい生活スタイルを地域に
創っていこうという提案です

具体的手法として、労働者協同組合法を活かした新しい働き方で、
持続可能で皆が元気に楽しく生きる地域社会を創っていこうとい
う事です！！！！



ご清聴ありがとうございました